

化粧品の自然指数表示に 関するガイドラインを制定

日本化粧品工業連合会(粧工連)は、自然・オーガニックを訴求した化粧品について消費者にわかりやすく情報提供する観点から、「ISO16128」に基づく化粧品の自然及びオーガニックに係る指数表示に関するガイドラインを作成した。

同ガイドラインの制定 高まっているが、その定により、自然・オーガニックや解釈は地域や認証機構指数表示が導入され、関係によって様々であり、消費者は同一基準に基づいて商品と比較することができなかった。そこで2010年、ISO(国際標準化機構)の「TC217(化粧品に関する技術委員会)ワーキンググループ4(WG4)「原料の定義、terminology)」の「原料及び製品の基準」が期待される。



2017(化粧品に関する技術委員会)ワーキンググループ4(WG4)「原料の定義、terminology)」の「原料及び製品の基準」が期待される。2016年2月にはISO16128 Part 1「原料の定義」、17年9月にはPart 2「原料及び製品の基準」が期待される。

中国「PCHI」で新規原料がW快挙

「丸ファルコス」

ウ果実エキスが、ストレスによる肌の不調開発者賞ではクロノケアする。

化粧品・医薬部外品・健康食品分野の原料開発メーカーである丸ファルコスは、3月19日〜21日の3日間、中国・上海で開催された化粧品原料展示会「PCHI2018」にて、「中国の美容及び化粧品業界に重要な貢献をする企業や個人」に贈られる「Fountain Award」の「活性原料賞・開発者賞」を受賞した。

活性原料・保湿部門賞では、「時間美容」をコンセプトにもつ新規開発原料である保湿・肌荒れケア原料「クロノシヤルディ」(表示名称「ブドウ糖」)を前に伊藤氏(左)と安藤芳彦社長



がInternational Standard (国際標準)として制定された。

なお、ISO16128は、その化粧品が自然化粧品あるいはオーガニック化粧品かどうかを判断するためのではなく、化粧品の自然指数・オーガニック指数等をそれぞれ定義し、化粧品中の自然及びオーガニック成分の比率の計算方法を示すものとなっている。

同ガイドラインは、ISO16128に基づき、指数を製品に表示するためのルールで、具体的には「指数の種類」「指数(%)」「指数計算に水を含める/含まない」「ISO16128準拠」の4点を製品上に記すことを定めている。ただし、この指数は自然・オーガニック化粧品(原料を含む)の安全性や品質について規定したものでなく、任意表示のため、すべて

の製品に表示されるものではないとしている。粧工連では、ISO16128の制定を契機として、消費者にわかりやすく情報提供するため、化粧品企業向けの「ISO16128」に基づく化粧品の自然及びオーガニックに係る指数表示に関するガイドライン」を制定した。

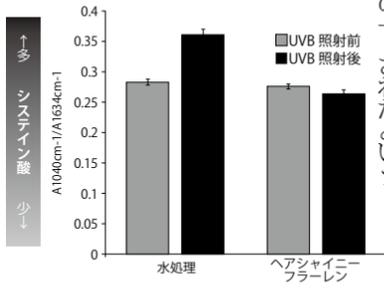
フラレンにシステイン酸の抑制効果を発見

ビタミンC60バイオリサーチ

「紫外線によるキューティクルのダメージを抑制すること」「染色剤の退色を抑制すること」を確認してきたが、さらにダメージの指標としてシステイン酸の生成について確認を行った。

システイン酸は健全な毛髪に多く含有されるといわれるシステインが酸化されたもので、毛髪が紫外線を浴びたり、パーマやカラー施術などでダメージを受けると毛髪内で増えるといわれており、毛髪のダメージ度合いを測る指標の一つとされている。

実験では、人毛を洗浄し自然乾燥した後、紫外線を照射し、システイン酸の指標となる化学結合を測定後、ヘアシャインフラレン5%配合水溶液または水を塗布し乾燥。さらに紫外線を照射し、再びシステイン酸の指標となる化学結合を測定した。



新社長に田中利尚氏

御木本製薬

御木本製薬では、3月16日に開催した定時株主総会・取締役会、田中利尚氏が代表取締役社長に就任した。



田中社長

◆花王、人事異動・機構改革(4月1日付) 三村拓▽SCM部門技術開発センター 生産技術グループ スキンケア・ヘアケア部長 今泉義信 機構改革/先端技術戦略室を新設する。

◆ライオン、人事異動(3月29日付) 特販事業本部長(ヘルス&ホームケア営業本部 副本部長) 山田悦朗